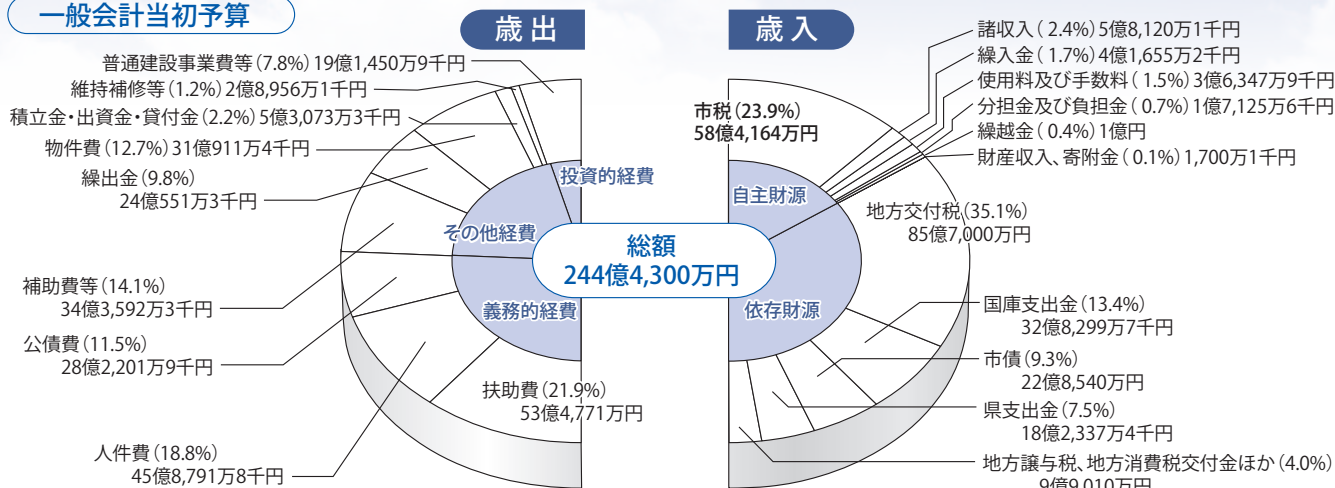


## 一般会計当初予算



### 歳出予算の特徴

扶助費は、生活保護費が増額傾向にあります。子どものための手当費の減額などにより、前年度より8,590万4千円減少しています。

物件費は、住民情報システム運用事業費や総合体育館などスポーツ施設指定管理料の増額などにより、前年度より1億7,768万8千円増加しています。

普通建設事業は、市営住吉町住宅の購入と全天候型陸上競技場整備事業が終了したことなどにより、前年度より31億4,749万6千円減少しています。

下水道事業が特別会計から企業会計に移行したことにより、繰出金は前年度より5億4,984万7千円減少し、補助費等は4億7,801万8千円増加しています。

### 歳入予算の特徴

市税は、固定資産税や市たばこ税が減額となることから、市税全体では前年度より2億6,768万5千円減少しています。

地方交付税は、国の地方財政計画で増額が見込まれていること、市税が減少していることなどにより、前年度より5億円増加しています。

国庫支出金は、社会資本整備総合交付金(住宅費)や子どものための手当負担金の減額などにより、前年度より12億5,659万6千円減少しています。

市債は、市営住宅建替事業債や全天候型陸上競技場整備事業債の減額などにより、19億3,220万円減少しています。

## 市民1人あたりの予算の使い道は

使い道	予算額	市民1人あたり	使い道の内容
議会費	2億7,349万9千円	4,601円	市議会の運営に
総務費	22億3,722万5千円	37,635円	まちの行事や防災、市役所や出張所の管理などに
民生費	92億3,762万6千円	155,398円	高齢者や障がい者、小さな子どもたちなどのために
衛生費	18億9,676万9千円	31,908円	ごみの収集運搬、健康診査や予防接種などに
農林水産業費	7億569万9千円	11,871円	農業や林業の振興などのために
商工費	10億5,149万6千円	17,689円	中小企業の振興や工業振興などのために
土木費	23億8,282万8千円	40,085円	道路や下水道の整備などに
消防費	12億4,906万1千円	21,012円	消防活動や救急業務などに
教育費	25億5,159万4千円	42,924円	学校や幼稚園などの教育関係に
公債費	28億2,201万9千円	47,473円	市の借入金返済に
その他	3,518万4千円	592円	災害など緊急時の予備などに
合計	244億4,300万円	411,187円	

※市民1人あたりの額は、予算額を平成24年2月末日の人口(59,445人)で割り返したものです。

### 市民1人あたりの予算の使い道

